

## 野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年10月後半)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年10月後半)について、主産地等から聞き取りを行いましたので、その結果を公表します。

### 1. 概要

ここ数年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、野菜の生育状況や価格の見通しを情報発信するため、平成23年より、主産地、卸売会社、中間事業者等から聞き取りを行い、その結果を「野菜の生育状況及び価格見通しについて」(以下「価格見通し」という。)として、農林水産省ホームページに掲載しています。

今回、本年9月下旬から10月上旬にかけて相次いだ、台風による野菜の生育への影響等を把握する必要がありました。

このため、従来、価格見通しは、毎月月末を目途に翌月の見通しとして公表しておりますが、今回は、平成30年10月後半の見通しとして公表します。

なお、聞き取りを行った14品目の野菜の生育状況は、東京都中央卸売市場外において流通するものについても、同様の傾向です。

また、これまでの公表資料は、次のURL ページで公開しております。

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai\\_zyukyu/](http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/)

### 2. 現在の生育状況

(総論)

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん及びにんじん)	だいこんは、台風第24号に伴う塩害が発生したため、生育の低下が見込まれる。 にんじんは、6月下旬から7月上旬にかけての長雨に加えて、7月中下旬の高温、干ばつに伴う生育の低下により、小ぶりとなっている。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	はくさいは、9月の長雨により生育が遅延し、また、傷みが発生。 キャベツは、台風第24号に伴う塩害が発生したため、生育の低下が見込まれる。 ほうれんそうは、9月の日照不足に伴う生育の低下により、細身傾向。 また、台風第24号により葉が損傷した。 ねぎの生育は平年並みであるものの、6月下旬から7月上旬にかけての長雨により、定植できなかったほ場があり、作付けが減少。 レタスは、9月の長雨により生育が遅延し、また、傷みが発生。加えて、台風第24号により葉が損傷し、生育が低下。

果菜類 (きゅうり、なす等)	果菜類は、9月の日照不足に伴い落花が発生し、着果不良となった。なす及びトマトは、引き続き着果不良となっているものの、きゅうり及びピーマンは、天候の回復に伴い、生育は回復傾向。
土物類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	ばれいしょ及びたまねぎの収穫は終了しつつある。さといもは、7月の高温、干ばつや台風第24号に伴う風害により、生育が低下。

### 3. 今後の生育、出荷及び価格見通し

(各論)

品目	主産地 ( )書きは29年 10月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	10月後半 価格見通し (平年(直近 5か年平均)比)
だいこん	北海道(32%) 青森(30%) 千葉(23%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道及び青森県において、生育が平年並みであるものの、後続の産地である千葉県において、台風第24号に伴う塩害の発生により、生育の低下が見込まれるため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</li> </ul>	高値水準で推移
にんじん	北海道(93%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道において、6月下旬から7月上旬にかけての長雨に加えて、7月中下旬の高温、干ばつに伴う生育の低下により、小ぶりとなったため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>10月後半も、出荷数量が少ない状況が続く見込み。</li> </ul>	高値水準で推移
はくさい	長野(76%) 茨城(13%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月の長雨により、長野県において傷みが発生し、また、茨城県において、生育が遅延したため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>茨城県において、天候の回復に伴い、生育が回復傾向であるものの、長野県において、10月後半も出荷数量が少ない状況が続く見込み。</li> </ul>	高値水準で推移
キャベツ	群馬(48%) 千葉(18%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県及び茨城県において、生育が平年並みであるものの、千葉県において、台風第24号に伴う塩害の発生により、生育の低下が見込まれるため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</li> </ul>	高値水準で推移

ほうれん そう	群馬(44%) 茨城(21%) 栃木(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県、茨城県及び栃木県において、9月の日照不足に伴う生育の低下により、細身傾向となり、また、台風第24号に伴う葉の損傷等が生じたため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>10月後半も、<u>出荷数量が少ない状況が続く見込み</u>。</li> </ul>	高値水準で推移
ねぎ	北海道(20%) 青森(20%) 秋田(15%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県及び秋田県において、生育が平年並みであるものの、北海道において、6月下旬から7月上旬にかけての長雨により、定植できなかったほ場があり、作付けが減少。 また、北海道において、10月上旬の降雨により、収穫作業が遅延。 これらのことから、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>北海道において、<u>10月後半も出荷数量が少ない状況が続く見込み</u>。</li> </ul>	高値水準で推移
レタス	茨城(56%) 長野(30%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県での9月の長雨に伴う生育遅延や、台風第24号に伴う葉の損傷に加えて、<u>長野県での9月の長雨に伴う傷みの発生により、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み</u>。</li> </ul>	高値水準で推移
きゅうり	埼玉(27%) 群馬(27%) 福島(15%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県及び福島県において、9月の日照不足に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>群馬県において、天候の回復に伴い、<u>生育は回復傾向</u>。 また、後続の産地である<u>埼玉県において、生育は平年並み</u>。 これらのことから、<u>10月後半は出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み</u>。</li> </ul>	平年並みに戻る
なす	高知(30%) 栃木(21%) 群馬(21%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知県、栃木県及び群馬県において、9月の日照不足に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>高知県において、天候の回復に伴い、生育が回復傾向であるものの、<u>栃木県及び群馬県において、10月後半も出荷数量が少ない状況が続く見込み</u>。</li> </ul>	高値水準で推移

トマト	千葉(20%) 福島(15%) 茨城(14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県及び茨城県において、9月の日照不足に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</li> </ul>	高値水準で推移
ピーマン	茨城(55%) 岩手(17%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県において、生育が平年並みであるものの、茨城県において、9月の日照不足に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、10月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。</li> <li>茨城県において、天候の回復に伴い、生育が回復傾向であるため、10月後半は出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み。</li> </ul>	平年並みに戻る
ばれいしょ	北海道(98%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</li> </ul>	平年並みで推移
さといも	埼玉(51%) 千葉(26%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県において、生育が平年並みであるものの、千葉県において、7月の高温、干ばつや台風第24号に伴う風害等より生育が低下し、小玉での出荷が見込まれるため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</li> </ul>	高値水準で推移
たまねぎ	北海道(95%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</li> </ul>	平年並みで推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比

**【お問合せ先】**  
 生産局園芸作物課  
 担当者：朝倉、坂田  
 代表：03-3502-8111（内線4822）  
 ダイアルイン：03-3502-5961  
 FAX：03-3502-0889

(参考)

### 東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比

品 目	10月1日 (月)	2日 (火)	4日 (木)	5日 (金)	6日 (土)	9日 (火)	10日 (水)	11日 (木)	12日 (金)	13日 (土)
だいこん	107%	109%	109%	108%	107%	104%	99%	100%	99%	96%
にんじん	159%	157%	175%	175%	175%	178%	165%	171%	167%	168%
はくさい	172%	171%	171%	178%	177%	167%	135%	137%	120%	110%
キャベツ	83%	84%	84%	84%	83%	81%	73%	75%	71%	73%
ほうれん そう	106%	114%	122%	132%	140%	141%	126%	139%	133%	125%
ねぎ	144%	153%	161%	158%	161%	157%	147%	150%	144%	142%
レタス	84%	98%	99%	110%	113%	108%	100%	109%	99%	102%
きゅうり	137%	138%	139%	141%	140%	139%	136%	108%	109%	107%
なす	120%	121%	128%	138%	134%	137%	134%	139%	143%	139%
トマト	106%	111%	108%	110%	108%	99%	100%	108%	113%	107%
ピーマン	135%	127%	133%	131%	130%	131%	126%	123%	122%	124%
ばれいしょ	109%	97%	108%	97%	108%	103%	97%	106%	108%	112%
さといも	122%	113%	116%	125%	105%	112%	109%	131%	120%	121%
たまねぎ	114%	118%	116%	116%	112%	112%	113%	125%	120%	121%

資料：大臣官房統計部「青果物卸売市場調査日別調査」をもとに作成（東京都中央卸売市場のうち4市場の価格の平年比）。

注1：平年比とは、日別価格と過去5か年の旬別価格の平均値との比である。

2：平年比が120%以上となっている日を赤セルとした。